

原子力エネルギーと放射線に関する学習会と対話会イン福岡教育大学 2013

日時：平成 25 年 11 月 28 日（木）

場所：福岡教育大学自然科学教棟 2 F 理科大講義室

1. 基礎情報

出席者情報について

学年	初等理科	中等理科	環境	大学院	学年別合計(名)
M1				2	2
2	40	2			42
3	1	1	1		3
4	1	1	1		3
合計(名)	42	4	2	2	50

2. 事後アンケートについて

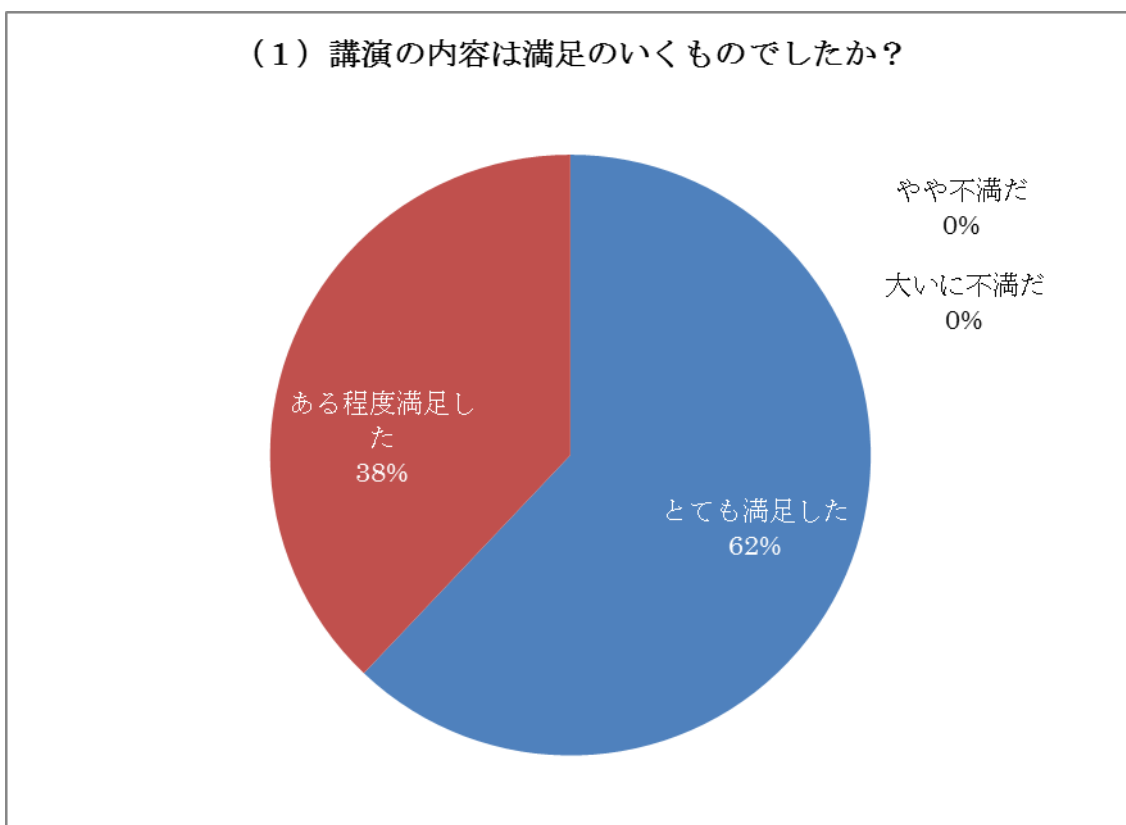
所属と学年	回収数
初等理科 2 年生	27
初等理科 3 年生	1
環境 3 年生	1
大学院	2
合計	31

事後アンケートの回収率 62%

(学生出席者：50名)

3. 事後アンケートの結果について

(1)講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？



選択肢	回答数
とても満足した	18
ある程度満足した	11
やや不満だ	0
大いに不満だ	0

とても満足した

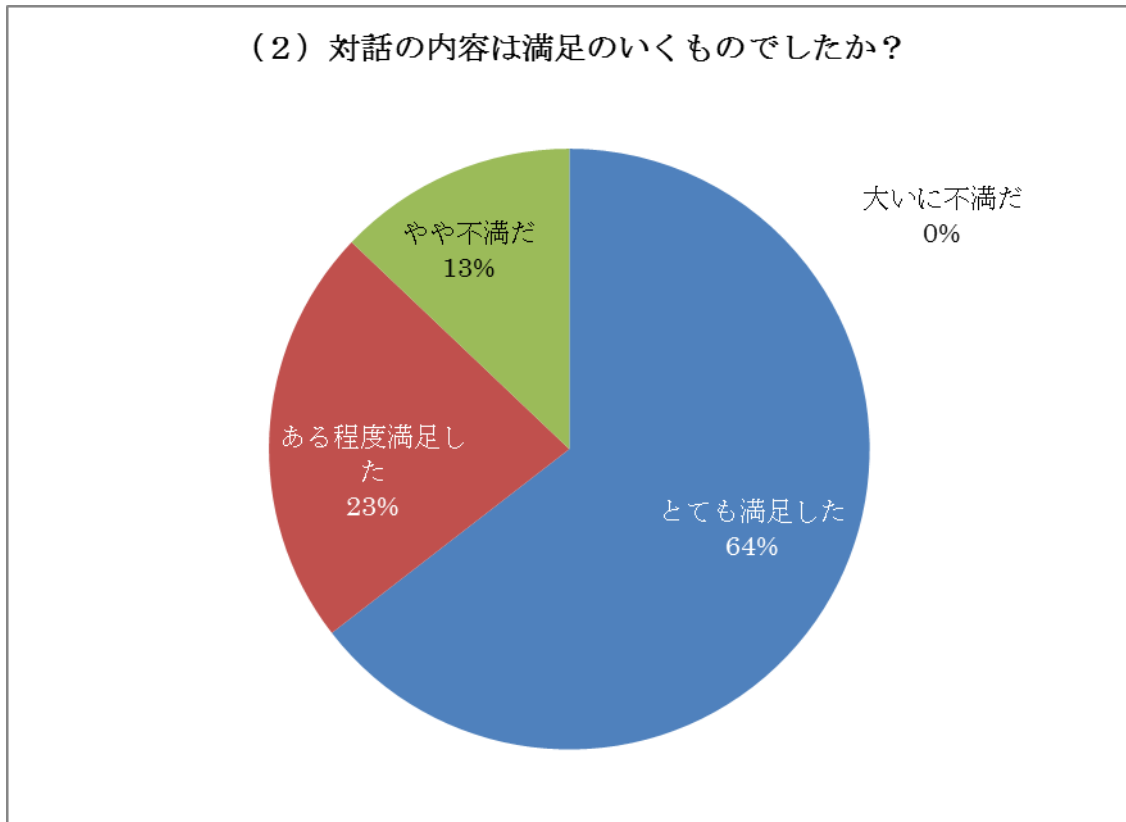
- 基礎からわかりやすく放射線について知ることができたから。
- 放射線の知識が増えたから
- 基礎から教えていただいたから
- これまでなんとなくしか意識をしていなかったことに目を向けることができたため
- 自分の意見をより高めることができた
- わかりやすくくわしく広くわかったから
- 様々な意見と、今の現状（原文のまま）を知ることができたから

- 知らないことばかりだった。
- 原子力について学ぶことができたから。
- こういった機会はめったになく、話したいことを言えた。知識も少し深めることができた。
- 自分も持っている知識がどのようなものか（真偽）について知ることができた。
- 知らない知識をたくさん得れた。
- 初めて知ることがたくさんあったから。
- 知識を得ることができた。
- 原子力に対する浅かった考えを見直すことができた。
- 知りたかったことが聞けたから。

ある程度満足した

- ある程度は知ってる内容があったから
- 原発事故について理解が深まった。
- よくわかったから
- 福島原発の現状を知ることができた。
- 実はあまり知らなかった福島第一原発事故の過程や、実被害の正しいデータを知ることができました。
- 丁寧に説明していただけたため
- 原子力について、少しは詳しくなれたから。
- 知らなかったことや誤識（原文のまま）していたことが分かった。
- 目的をはたすことができたから。
- 聞きたかった話をわずかにでもきくことができた。

(2)対話の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？



選択肢	回答数
とても満足した	20
ある程度満足した	7
やや不満だ	4
大いに不満だ	0

とても満足した

- 自分では原発の知識がある方だと思っていたが、知らないことを多く知ることができたから。
- 日ごろ感じていた疑問が解消できたから。
- 普段話せないことや聞けないことを聞いたから。
- 自分の細かな質問に真剣に答えてもらったから。
- 様々な人の意見か考えをきくことができたため。
- もっと知りたいことができました
- 充実した内容であったから
- 様々な意見と、今の現状を知ることができたから
- 質問に丁寧に答えていただいたから

- 自分が疑問に思ったことが解決した。
- 原子力について、専門家の方と対等に話すことができたから。
- メディアでは得ることのできなかつた情報を、工藤先生、泉館先生からお聞きできたため。
- 放射能に対する誤った知識を知ることができた。
- 賛成意見、反対意見、双方の立場の意見を聞き、吟味できたから。
- 疑問がなくなった。
- 自分の意見を、他の人の意見を聞くことで、見直すことができた。
- 充実した意見交流ができたから。

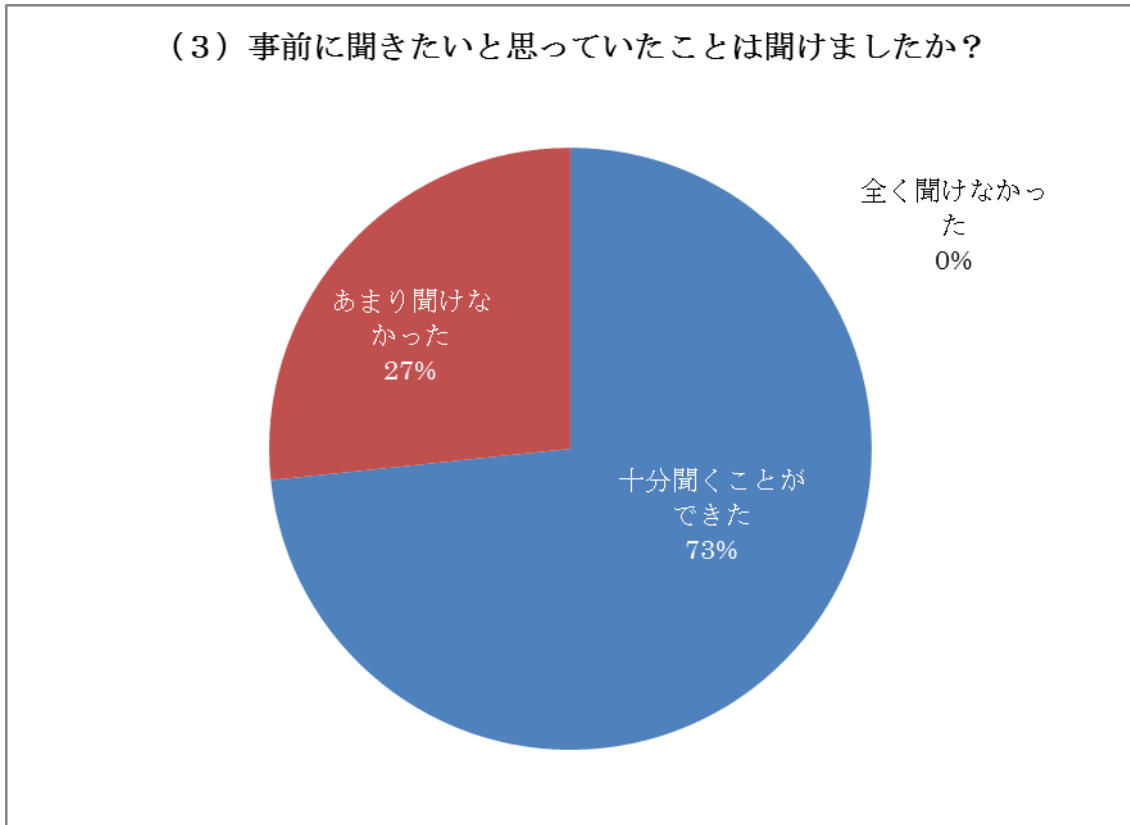
ある程度満足した

- なぜ原発を再稼働する動きがあるかを理解する点で有益であったが、反対意見の根拠はあまり詳しく聞くことができなかった。
- 有意義な時間だった。
- 今回のような形では当たり前ではあるが、自分の思っていることはすべて伝えられないし、学生→先生との一方通行でしかないから、討論ではなかった。このような形なら興味のある人が1対1で話した方がよい。
- あまり質問ができなかつたのが残念ですが、福島第一原発の現状・事件の過程そしてこれから原発とどう向き合っていくかを考えることができた。
- 自分がききたい内容は聞けたから。
- 質問できて、いろいろ素朴なことが聞けた。
- 対話をしっかり行うことができた。

やや不満だ

- 質問できなかつた。
- 対話の内容が一貫性がなく、内容としてあまりよいと思わなかつた。
- もう少し意見交換の場がほしかつた。
- あまり発言できなかつた。

(3)事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

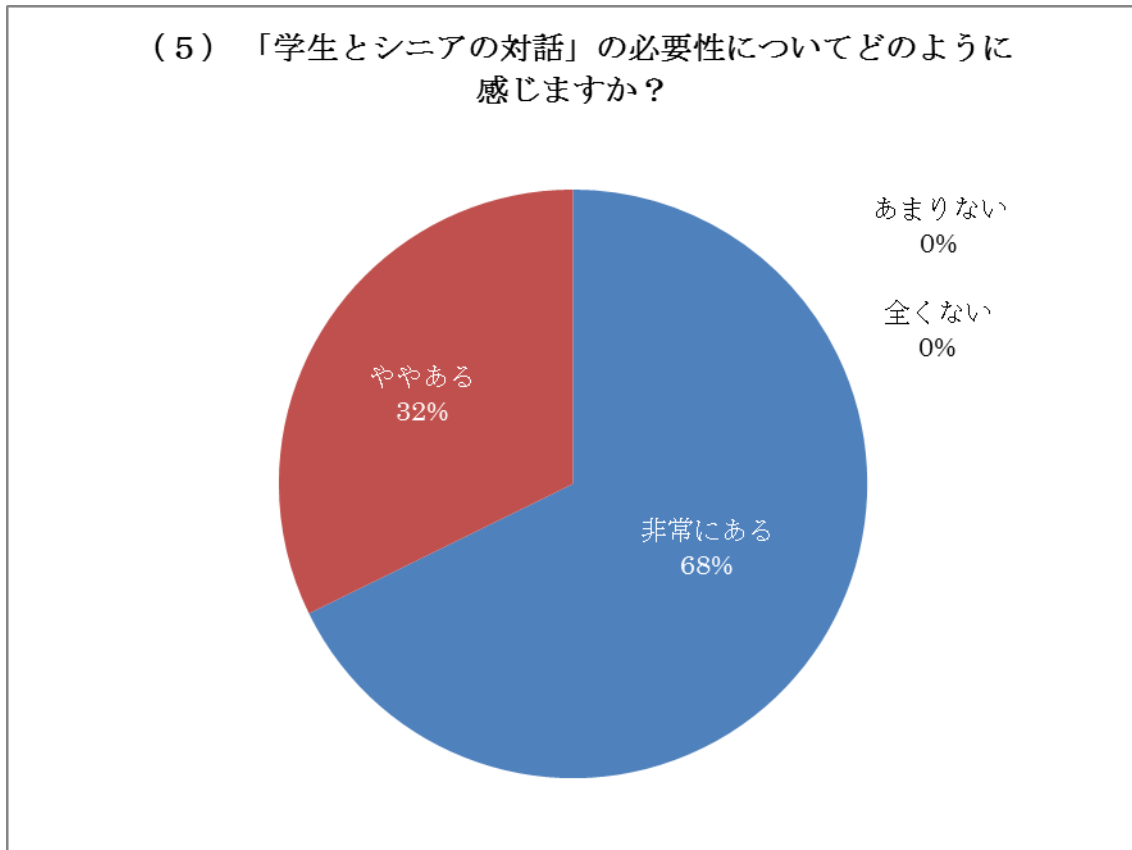


選択肢	回答数
十分聞くことができた	22
あまり聞けなかった	8
全く聞けなかった	0

(4)今回の対話で得られたことは何ですか？

- 福島原発事故について知ることができた。
- 原発を補える電力は、火力発電しかなく、それも長くは続かないこと。
- 100%安全なものはない！
- 福島原発の現状について
- 知識。教師になるために必要なこと。
- 自分の考えがまだまだ十分なものではないことが分かりました。
- コスト・安心などを考慮しながら意見を持つ
- 原発に関する多くの知識
- 放射線についての正しい知識と教育が必要であること
- 科学技術の進歩が大切
- 原発に関する正しい知識
- 知識が必要であること
- 放射能は怖くない。
- 賛成側としての意見。自分が思っているよりも原発は危険ではない。
- 原発に関しての賛否ははっきりしなかったが、他の対策ができることを知った。
- 反対意見ではなく賛成意見を聞いたのがよかった。
- メディアが全てではなく、海外との基準と比較した話が聞けた。考えるだけでなく実際に見ることが大切だとあらためて思った
- ・メディアにおどらされない。
 - ・あらゆる面からみた情報を手に入れ、その上で判断すべきである。
- 正しく理解し正しくこわがる。
- 部分的な知識
- 放射能を恐がるな。
- いろいろな視点からの原発の利点
- 賛成・反対のどちらの意見を聞くことで、自分の意見を考えられた。
- 様々な意見を多少聞いた。
 - 考えるいいきっかけとなった。
- 疑問の解決
- 原発の現状について。
- いろいろなことには、メリット、デメリットがあり完全なものはない。
- 放射線についての知識。
- 問題は人の心にあるということ。

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？



選択肢	回答数
非常にある	21
ややある	10
あまりない	0
全くない	0

非常にある

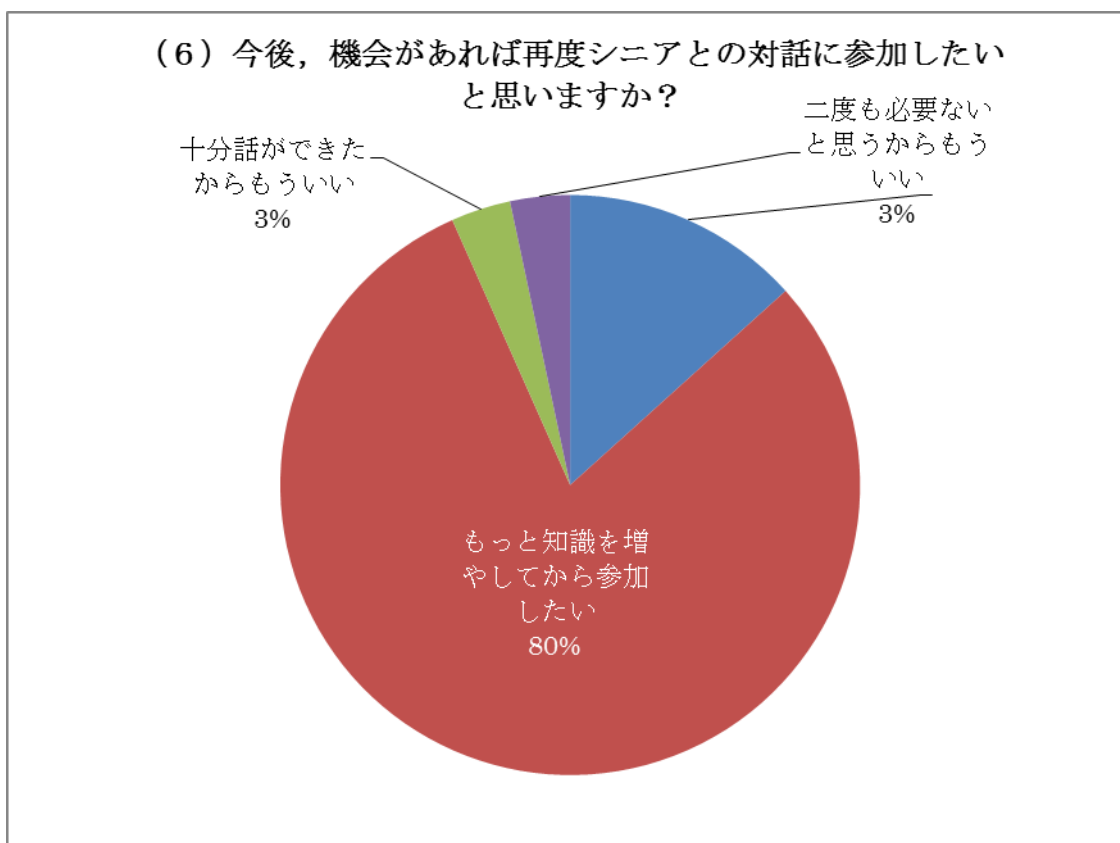
- 自分の疑問を+αの答えをつけて答えてもらえること。また、新たな疑問を得ることができること。
- 危機感は直接の体験談などだととても伝わるので、安全性などについての意識をより深められるから。
- 年齢の異なる人同士で話ができただから
- 普段話す機会のない方々だったので、そのような人の意見がきけてよかった。
- 専門家の（原文のママ）話し合うことは、学生同士でやるよりも集中できる
- このような機会はなかなかないし、意外と知らないことが多い

- 様々な意見を得られるから
- とても意義があるから。
- 自分が知らないことを話の中で知ることができたし、やはり、知識の量がちがうので、対話の中でもいろいろ学ぶことができた。
- 知識量がちがうし、今日のように専門的知識を直接教えていただける機会がないのでこのような対話はとても貴重だと思います。また、学生の考えをシニアの方がどのように受け入れ、年齢のちがいによる考えの差がどのように浮き彫りになっていくのかが見えてくるのでよいと思います。
- (2)・(4)の理由や得られたことに加え、そもそも普段お会いできないような方々とお話できるめったにない機会になる為。
- 今の学生にはわからないことを多く聞くことができるから。
- 専門家の意見は大きいから。
- 普段考えられないような意見をたくさん聞けたから。
- 学生では知らない知識、データ、考え方等を吸収できるいい機会だから。
- 知識が豊かな人がいることで、話が濃くなると思った。
- テレビで見て聞くとはい違い、納得できる要素がいくつもあるから。
- 専門家の知識はすごくためになるから。
- シニアの豊富な知識を学生に伝えてもらう必要があるから。

ややある

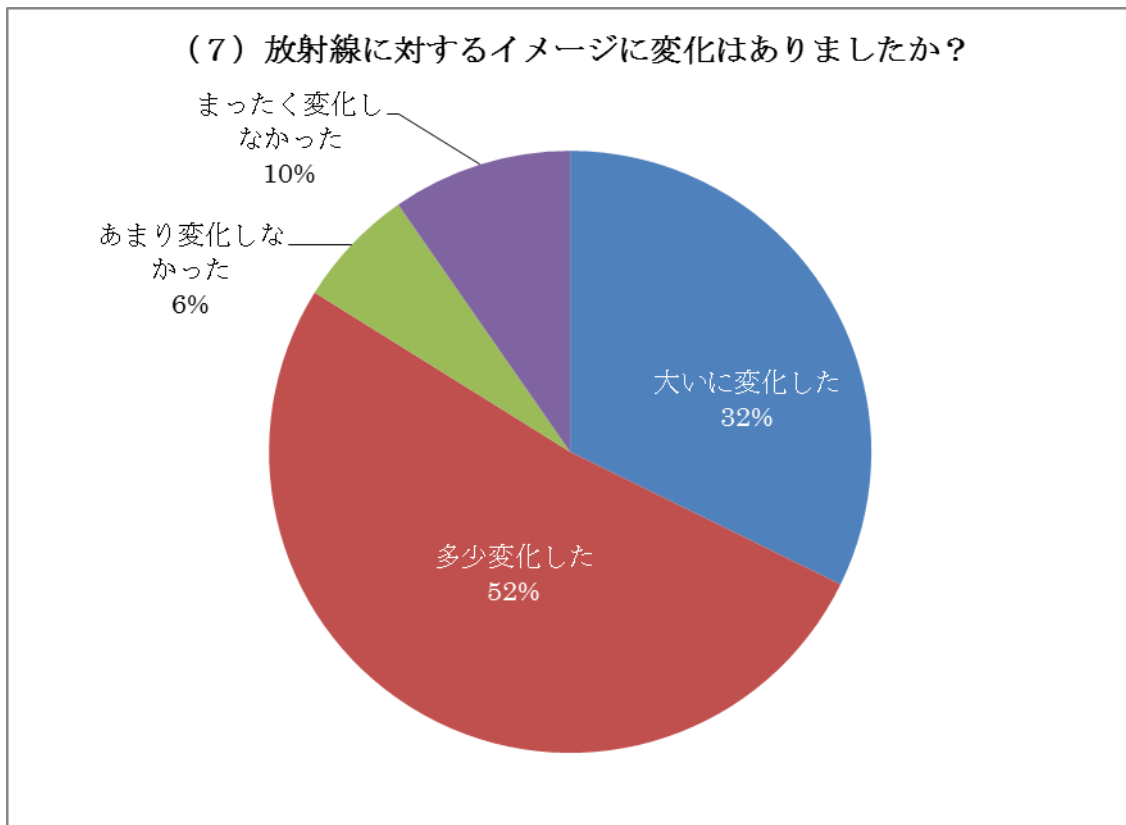
- 参加率を上げるのが難しい。
- 普段話せないことやいろんな知識が得られるから
- 意見交流ができたから。
- 興味のあることを話せたから。
- 事前にアンケートをとっているもので、そこに記載されている内容なら対話をする必要があると感じたが、ぱっと出で思いついた質問内容で、中身の無い対話となった気がした。
- "様々な意見を聞けるから。
- だが、電力会社の方々ばかりだったので、賛成意見寄りのものばかりだったので、この講演のみ聞いた人は意見がかたよるのでは？
- もっと中立的な話を聞きたかった。人数多かったので、もっと意見交換の場がほしい。"
- 話をきけるし、質問することができるから。

(6)今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？



選択肢	回答数
まだまだ話したりないので参加したい	4
もっと知識を増やしてから参加したい	24
十分話のできたからもういい	1
二度も必要ないと思うからもういい	1

(7)放射線に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？



選択肢	回答数
大いに变化した	10
多少变化した	16
あまり変化しなかった	2
まったく変化しなかった	3

大いに变化した

- とても悪いイメージがあり、危険なものという考えだったが、そこまで大きな危険ではなかったから。
- 少しはあびても大丈夫。あびないといけないということ。
- 少しうけるぶんには良いと分かった。
- 福島では立ち入り禁止の区域がまだあるが、世界から見たら1ミリシーベルトは許容範囲内であると知ったため。
- 相当あびないと危険ではない。
- 現在の放射線レベルや日本のレベルの厳しさから。
- シニアの説明により。

多少変化した

- 想像以上に自然から放射線がでていることを感じれた。
- 危険なものは克服すれば良いと分かったから。
- メディアが大げさすぎるということが分かった。
- くわしく知れた。あいまいな部分が知れた。
- あまり意識がなかったから。
- 思っているより、悪いものではないと思ったから。
- もっと軽く考えていい。
- 人体に対する被害は自分の考えより小さかった。
- メディアで流れている数字に対する恐怖心しかなかったのですが、外国の基準や文化との比較で初めの頃より肯定的になった。
- 以前から思っていたイメージより、実際は安全なのではないかと感じたから。
- 思っていたより危険ではなかった
- 全部が危険というわけではないことがわかったから。
- 日本の基準が少し行きすぎていると知ったから。

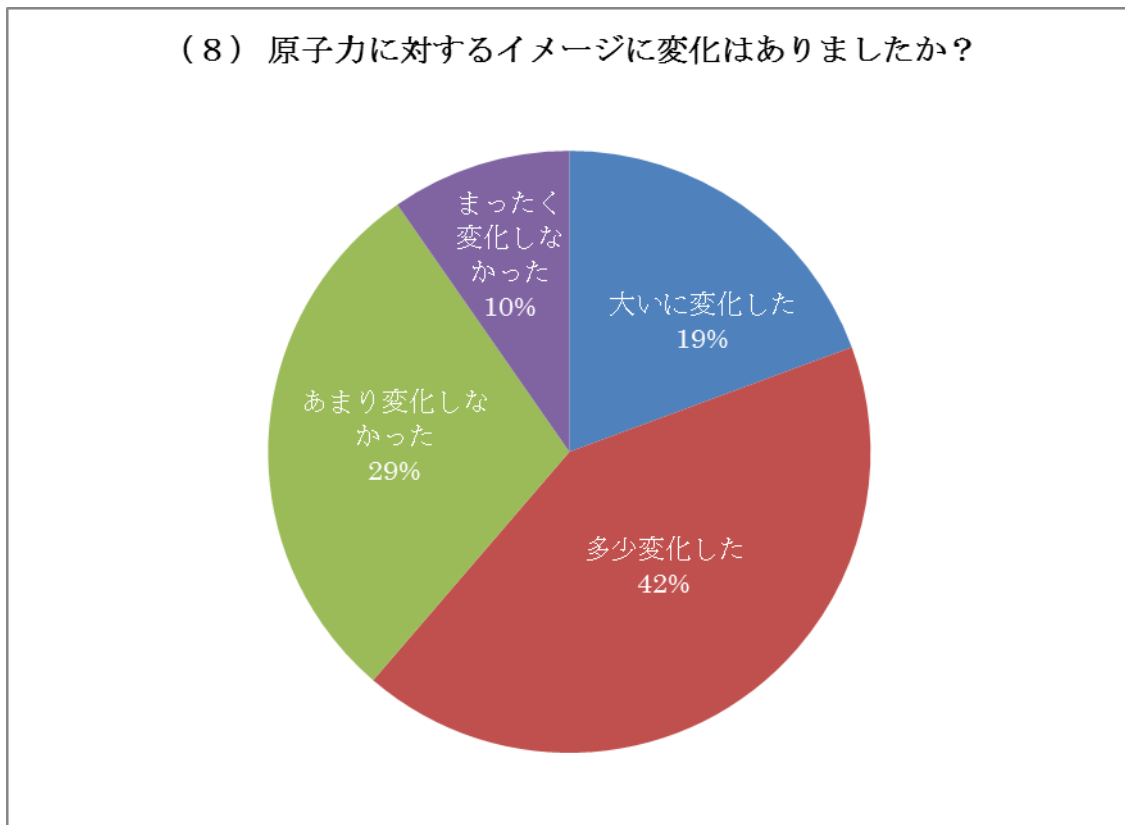
あまり変化しなかった

- 講演を聞くことができなかった。
- 改善点ははっきりしているが、こうどうがまだまだだから。

まったく変化しなかった

- そういうイメージだったから。

(8)原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？



選択肢	回答数
大いに变化した	6
多少变化した	13
あまり变化しなかった	9
まったく変化しなかった	3

大いに变化した

- どこまで安全をつきつめるかだけが問題で、危険なのは百も承知だから。
- 原子力に対するイメージというか、他のエネルギー発電にもそれなりのリスクがあることを知り、エネルギー発電全般に対してイメージがかわりました。
- シニアの説明により。

多少变化した

- 原子力に替わるエネルギーはなさそうだと感じたから。
- 火力や自然エネルギーにたよることの危険を教えてもらったからです。
- どれだけ対策をしてもリスクがあり、結局は使う人の心がけしただと感じた。
- もっと反対派の人の意見も聞きたい。
- あまり意識がなかったから。

- あった方が良い理由が明確になったから。
- なぜ原発が止まったのかを知れた。
- 賛否は出なかったが、どんな所がいいのか悪いのかがはっきりしたから。
- メディアで流れている数字に対する恐怖心しかなかったのですが、外国の基準や文化との比較で初めの頃より肯定的になった。
- 思っていたより危険ではなかった
- 全部が危険というわけではないことがわかったから。

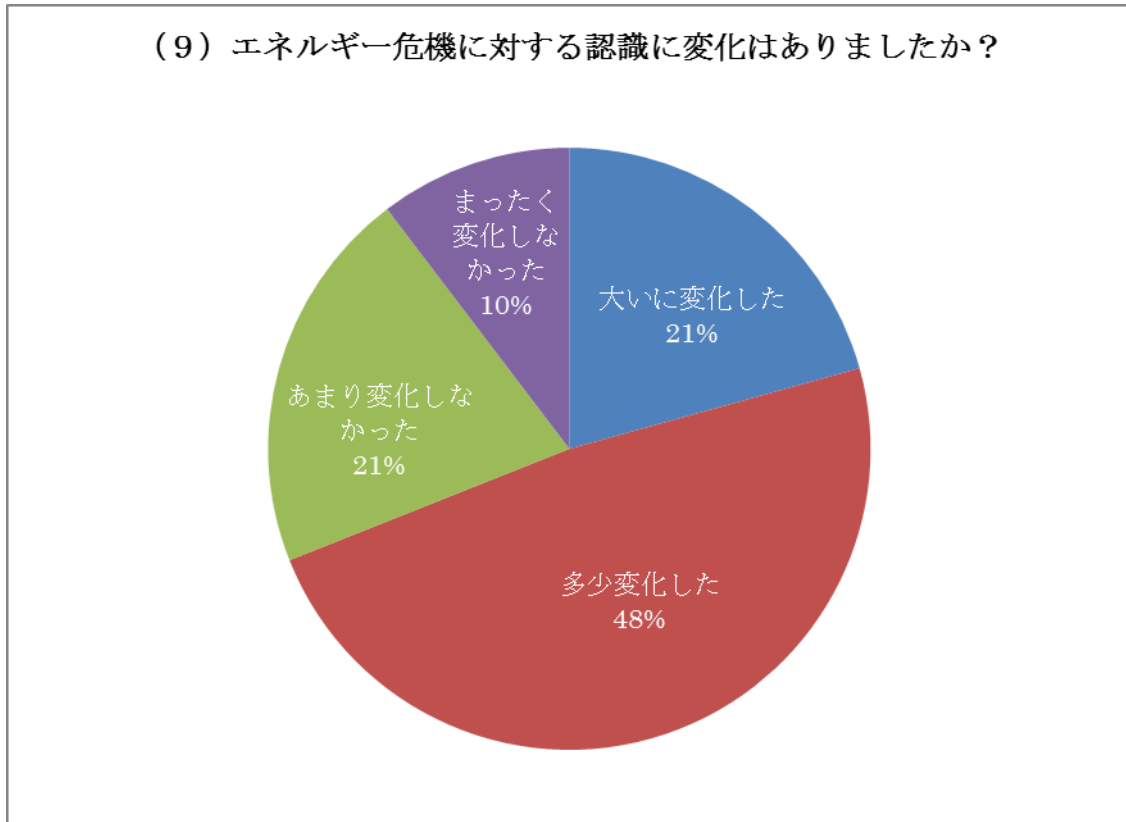
あまり変化しなかった

- 講演を聞くことができなかった。
- やっぱり原発は必要であると思ったから。
- けっこう思っていた通りであった。
- 以前から原発に対しては賛成であり、今回の対話を通してその意見は変化しなかったから。
- 原子力について、メリット・デメリット
- もともとこわいけど絶対反対！という考えではないから。

まったく変化しなかった

- そういうイメージだったから。

(9) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？



選択肢	回答数
大いに变化した	6
多少变化した	14
あまり変化しなかった	6
まったく変化しなかった	3

大いに变化した

- 世間は放射線のことにはさわぎすぎだと感じたから。
- 化石燃料の不足により、お金を多めに（原文のまま）使っていることを知ったから。
- どんなエネルギーを使ってゆくべきか十分に考える必要性を感じた。
- シニアの説明により。

多少变化した

- エネルギーの出所について経済や世界の状況を考えてみたことはなかったため、新たな考え方がでてきた。

- 脱原発派の論拠がないことは見えていたから。
- あまり意識がなかったから。
- 自然年る儀—だけではまかなえないとわかったから。
- 日本の資源なさがわかった。(原文のまま)
- エネルギーは限られているということを改めて(原文のまま)考えた。やはり、再生エネルギーを推し進める必要がある。
- コスト、安定、安心、環境面から考えることができた。
- どの発電方法にもリスクがあり、そしてそれは持続可能ではないことを改めて教えられました。
- 化石燃料の涸渇
- いろいろな発電方法を共存させることによって何があったともに(原文のまま)対応ができる。
- 原子力の代わりに火力でやっていると聞いたため。

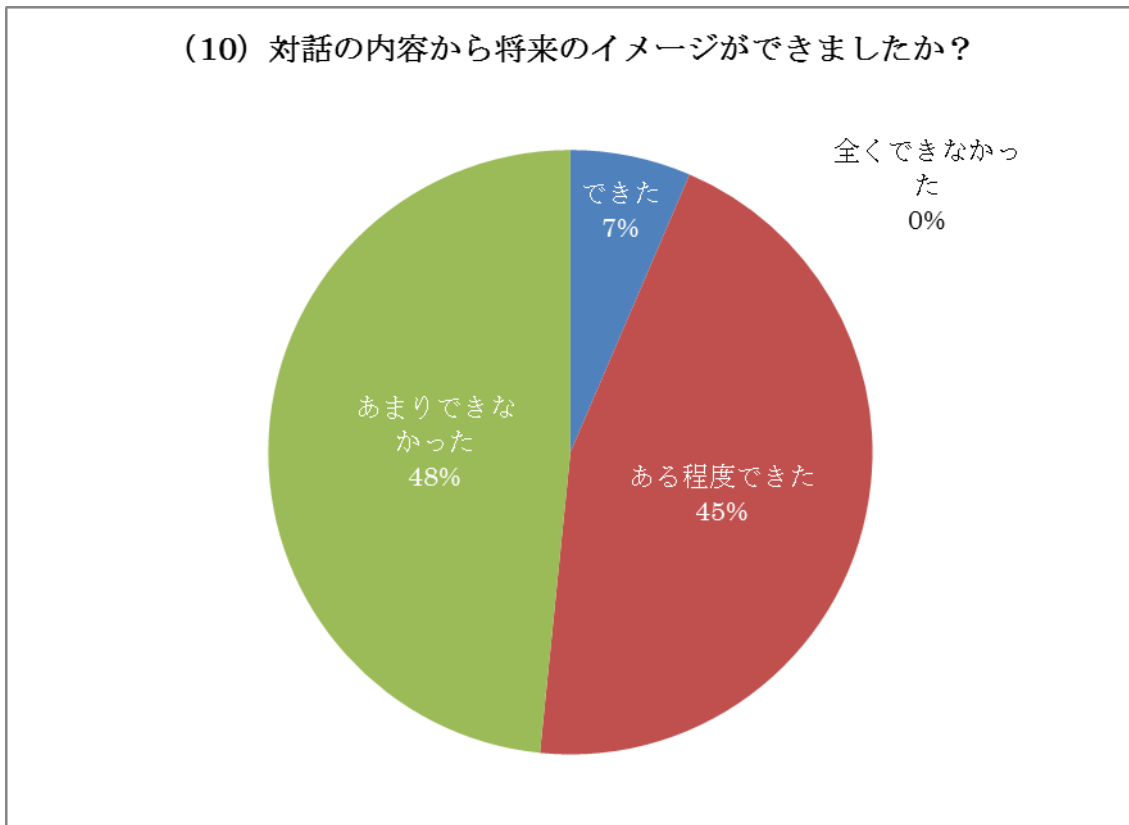
あまり変化しなかった

- 原発がなくなったのは大きい。
- 化石燃料の涸渇に関して、危機にあることを再認識できたから。
- もともと原発の再稼働に賛成だから。

まったく変化しなかった

- エネルギー危機に関しては前々から叫ばれており、新しい話題ではない。
- 将来電力と生産する原料がなくなる可能性が思っていたより短かった為。

(10) 対話の内容から将来のイメージができましたか？その理由は？



選択肢	回答数
できた	2
ある程度できた	14
あまりできなかった	15
全くできなかった	0

できた

記述なし

ある程度できた

○脱原発は不可能とわかったから。

○ネットではなく、本からいろんな見方を知る必要だと（原文のまま）教えてもらったからです。

○自分たちに直接かかわる問題だということを改めて（原文のまま）感じました。

○対話の中で色々な意見を取り入れられたから。

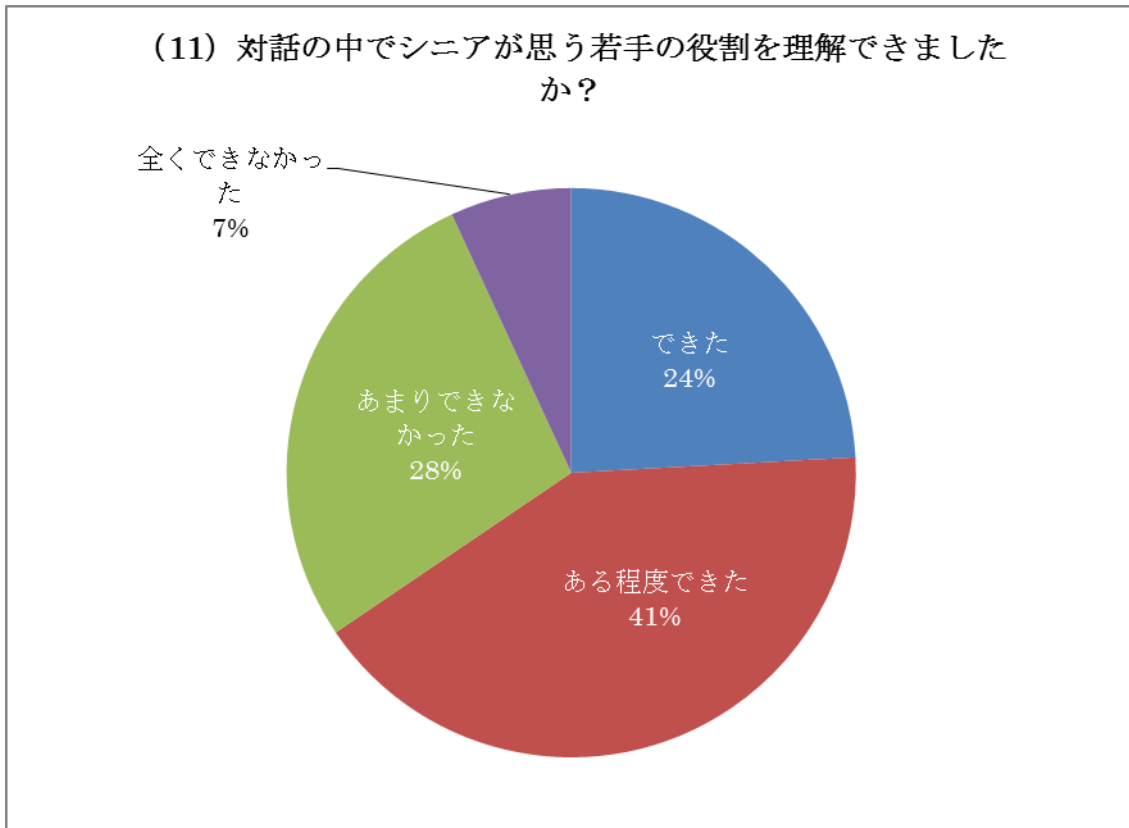
○今までよりできたが、対話がどうこうという問題ではなく、この点での将来は、まだまだ研究を進めていかなければならないことが多く、分からないことだらけであるため。

- やはり原発は必要であると感じた。また、反対意見の人にどう説明し、納得させていくことが大切ではないかと感じました。
- 先は燃料が枯渇するイメージはできたが、科学は日々進化しており予想不能だから。
- 日本の将来性を少し理解できたから。
- 化石燃料枯渇による、他の発電方法を考えた。

あまりできなかった

- 話が回っているだけで解決へはいかないと感じた。
- 身近に生かすということにはあまりつながらないような気がした。
- あまりしっかりとした改善策が見えてこなかった。
- 将来のイメージまでは気にしていなかった。
- 推進派の意見が多かったように感じたから。
- 先のことはわからない。
- けっきょくのところ、原発は必要なのか？なくなったときにどうすればいいか？という結論は自分の中で出ていない。
- 対話の中で得られた知識が偏っていたため
- 一般の人の認識がどう変わるかで違う。
- たくさんの意見がありすぎて
- 様々な意見や方面の話は出てこなかった。
- 研究職につく予定がないため。
- 話がやはり難しすぎるから。

(11) 対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？



選択肢	回答数
できた	7
ある程度できた	12
あまりできなかった	8
全くできなかった	2

できた

- しっかりとききもらさないように聞いた。
- 情報の選択と冷静にものごとを見ること。
- まずは自分の意見を持つこと。そして、知識をつける。
- 「君たちにして欲しいことは・・・、等、(原文のまま) 直接おっしゃっていたので、実際にできるかはおいておいて、理解することはできたため。

ある程度できた

- 極端な教育はせず、側面を与えるだけで良いと分かったから。
- 今の若者が情報を取捨選択していかなければならないということ

- 教師に必要なことを教えてもらえたから。
- 勉強すべき！と言ってくれた。
- 「原発について学んでほしい」とのこと。知識不足が否めない対話となった。
- 自分の考えを持ち意見を言っていかなければならない。しかし、国会とか内閣が頷かないと結局ダメである。
- これからを担う若手に期待しているから。
- この内容について触れていただけだったので。

あまりできなかつた

- あまり賛成できなかつた。
- 若手の役割のようなことについては述べていなかったから。
- 学生側から見た原発のイメージをしっかりと伝えることができたとは言いがたいので・・・。
- そういう話が出てこなかつた。
- 私自身あまり発言できなかつた。

全くできなかつた

- 分からなかつた。

(12) 自分が思っていた若手の役割とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

- 考えたことがなかったので、どのようなことを考えればよいかおぼろげにわかった。
- ない。
- 確かな知識に裏付けされた意見があるかないか。
- 質問形式だったので、知識を持っているシニアの方々からできるかぎり教えてもらい、自分の考えをいろんな角度から刺激を与える必要があったと感じました。
- もっと多くの方と話をして理解を深めたいと思いました。
- より他の人の意見も聞きたくなった。
- わかりません。
- 今回の話ではあまり考えのちがいはありませんでした。
- そんなに変わらなかった。
- 自分の考えがあまりいいことを知った。
- 考え方にあまり違いはなかったですが、原発に対するとらえ方が、リスクもメリットも踏まえて発言されているところがやはり違いました。
- もっとよく知ろうとし、それを周りの人に伝えていかなければならないと思いました（考えの変化の方です）
- 特になかった。というよりシニアの方々が求めている役割の話もあまりなく、私たちに勉強をして欲しいとの話であった。私も勉強不足が否めないと思ったので、これから学んでいきたい。
- 我々の班では原発の善し悪しについての話はなかったため、自分の考えに変化はなかった。
- 知識量が違った
- 違いがなく、考えに変化もなく、知りたい知識を増やせたことで満足した。
- 自分の考えは少しは変化した。これからの日本を支えるためにがんばっていきたくと思った。
- 放射線の規制値が日本と世界とで大きく差がでており、それにより規制域が、日本で広くとられていたが、実際は、そこまで大きくとる必要はなかったのではないかという疑問を持った。
- まだ見ぬ児童たちに、自分の意見だけおしつけるのではなく、様々な、多角的な視野で考えられるようにいろんな考えを伝えて行きたい。

(13) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- 貴重な体験だと感じた。
- まとめる時間があと5分欲しかった。
- 専門的なご意見を受けれてありがとうございました。
- とても良かった。また行いたい。
- あまり聞けないことを質問できてよかった。
- すごく勉強になりました。
- このような機会を頂いて、自分が知りたいことを知ることもできました。次回もぜひ参加したいです。
- 対話の中で、いろんなことを学び、今後どうしていくかを考えるいい機会になりました。またあるならば参加したいです。
- このような機会を設けていただき、ありがとうございました。もう少し少ない人数で班を組むと、より発言が出やすいのではないかという風に（原文のまま）感じました。
- 失礼ながら、視界の方の態度、対応に疑問を感じた。主観が入るため一概にそうとは言えないが対応の仕方の雑さや敬語の使えなさなど、後輩の目から見ても目に余る部分が多くあったように感じた。少し残念に思う。
- 対話の中ではなるほどと思うような発言もあり、自分の考えを改めるきっかけとなり良かった。
- 先に述べたとおりです。学部生にはよい内容だったと思います。自分にはあまり必要ないという内容でした。
- 特にシニアとの交流がとても有意義でした。
- とても有意義な時間でした。
- 新しい知識を得ることができた。この知識をムダにせず、生かしていきたい。

以上